

ゆうゆうの日常

～10月だより～

令和7年11月4日

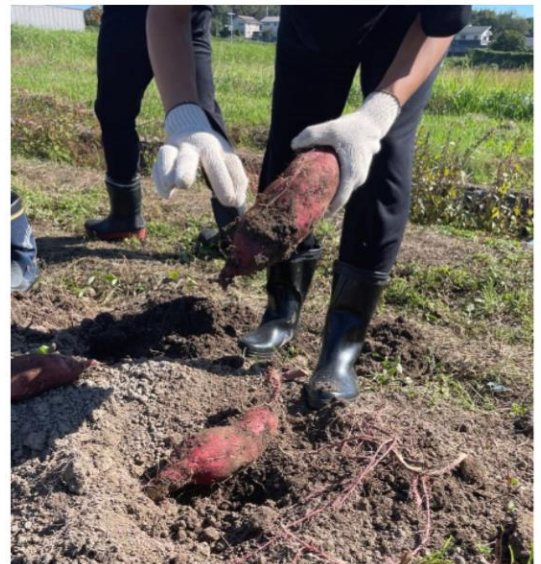
いもほ さつま芋掘り



こんげつ は、がつ なえう いも おお そだ ちいき かた かんり
今月は、5月に苗植えをしたさつま芋が大きく育ったので、地域の方が管理する畑で、収穫体験をしてきました！

ことし いも ほうさく だん はこぶん いも しゅうかく
今年、さつま芋が豊作で、段ボール4箱分ほどのさつま芋を収穫してきました。地域の方との交流も子どもたちから自然と話しかけ、農作業の事や虫のことなどを教えていただきました。子どもたちの表情は、ごくごく自然で見守っていた職員からは、「とても良い表情で交流できていた。」「子どもたちが、笑顔でさつま芋掘りも交流も出来ていた。地域の方に感謝です。」と。子どもたちからも「さつま芋がありすぎて、収穫は大変だったけど、大きく育ってくれてうれしかった。」「早く食べたい！」と感想を聞かせてってくれています。

ちいき かた なえう いもほ おお こと きょうりょく
地域の方には、苗植えからさつま芋掘りまで多くの事に協力いただきました。ありがとうございました。





ゆうゆうの療育

～10月だより～



ひと おも しゅうだん ～人を想う～(集団SST)

がつなつやすみ りよう しゅうだんSST ないよう すこ しょうかい
8月夏休みを利用して、集団SSTをしました。その内容を少しご紹介します。

こんかい
今回のSSTのテーマ：～人を想う～

こども 企画で進められている子どもカフェの目的の一つとして、「僕たちが社会に出たときに、人を
おも ことば こうどう でき
想う言葉、行動が出来るようになるため。」とあるため、「人を想う」にスポットをあ
こと
事にしました。

しゅうだん なが
集団SSTの流れ

- ① “思う”と“想う”の意味を調べる。
- ② “思う”と“想う”の違い。
- ③ “思いやり”よりも“想いやり”



こんかい
今回は、2チームに分かれて集団で考えてもらいました。

- ① “思う”と“想う”の意味を調べる。

“思う”チームと“想う”チームにわかれて、国語・漢字辞書やネットを使用し、意味を調べてもら
いました。辞典とネットの2つを使用するのも理由があり、実は同じような意味であっても、文章
は異なります。ネットであるとAIによる統一性のある文章となり、子どもたちが文章に触れる
せつかく きかい かんたん お
折角の機会が簡単に終わってしまうためです。同じ言葉を説明するにも多くの言葉や文章の
い まわ し
言い回しがあると知ってもらうためです。また、スマホ等の普及により活字に触れることが少ない
こ かつじ ふ きかい つく ことば なにげ しょう
子どもたちに活字に触れてもらう機会を作るためです。さらに、言葉を何気なく使用しているけれど、
きちんと意味があることを知ってもらうためです。



子どもたちがそれぞれまとめてくれました。

・**思う**の意味

心こころを働はたらかせて、自分じぶんなりに判はん断だんしたり理り解かいしたり感かんじたりする。

主しゅ観かん的てき、感かん情じょう的てきな動うごきなど。

・**想う**の意味

相手あいてのこおもとを想かんがいやる(考かんがえる)。

感かん情じょうを込こめて考かんがえる。感かん情じょうや深ふかい想おもいを抱いだくなど。



② “思う”と“想う”の違い。

上じょう記きにままとめたように“おもう”でも、**意味いみの深ふかさ**が異ことなります。

“思う”は、自分おも自身じぶんのこことに関かわることはん断だんする時ときに用もちいられます。一いっ方ぽう的てき・一いち時じ的てき

“想う”は、相手おものこことに對たいして喜き怒ど哀あい樂らくなど特とく別べつな強つよい感かん情じょうを表あらわす時ときに用もちいられます。

ひろ
広がる。

③ “思いやり”よりも“想いやり”

○「相手あいてのこことを想おもいやる」とは、具ぐ体たい的てきにどどんなこことがあるか？

→(子どもたちの意見いけんです。)お皿さら洗あらいなどの家か事じの手て伝たい。ボラさんンかティアんに参さん加かする。支し援えん活かつ動どうなど

○「相手あいて」とは、そだれか？

→両りょう親しん、祖そ父ふ母ぼ、放ほうデいの先せん生せい、友とも達だち、学がっ校こうの先せん生せいなど

○「高こう校こう進しん学がくをしたいと強つよく想おもう(未み来らいを想おもう)」といいう文ぶんが有あります。では、この文ぶんの「相手あいて」

とは誰だれの事ことでしょう？

→「相手あいて」とは、他た者しやだけを示しめす言ことばではない。鏡かがみを見みれば当とう然ぜん自じ分ぶんが映うつります。鏡かがみで見た

自分じぶん自身じぶんを「相手あいて」と考かんがえれば、「相手あいて」とは、自分じぶん自身じぶんや他た者しやのこことです。

“おもいやり”は一いち時じ的てき・一いっ方ぽう的てきな思おもいではなく、その想おもいが広ひろがり他た者しやや自分じぶん自身じぶんを大たい切せつにしてゆゆくこことです。